

日経平均株価の史上最高値更新に対するコメント

神戸商工会議所

会頭 川崎 博也

日経平均株価の史上最高値更新は、大手企業を中心とした好調な企業業績等を背景に、長引くデフレ・低成長経済からの脱却の兆しを感じさせる一場面になった。

しかし、行き過ぎた円安や米中経済の動向など内外の複合的な影響によるところが大きく、いまだ真の実力を表したものとはいえない。日本株への期待や評価と实体经济の力を一致させてこそ、日本経済が名実ともに真の成長ステージに入ったといえる。

今、賃金と物価の安定的な上昇による好循環を生み出していけるか否かの正念場であり、その実現のためには、大手企業だけでなく、雇用の七割を占める中小企業の持続的な成長が不可欠である。

人手不足や物価高を乗り越え、地域の中小企業が前向きな賃上げや投資拡大に踏み込めるよう、当商工会議所としては、国や自治体とも連携を図りながら、その経営支援に最大限注力していく。

令和六年二月二十二日